

		現行の「GLOBAL PASS 会員 Web サービス利用特約」文言		新しい「GLOBAL PASS 会員 Web サービス利用特約」文言
第3条 (ID・パスワード)	1.	会員は、Web サービスの利用にあたって、ユーザーID、パスワード、Eメールアドレスを登録するものとします。	1.	会員は、Web サービスの利用にあたって、ユーザーID、パスワード、Eメールアドレス、その他必要な情報を登録するものとします。
	4.	会員は、第1項に基づいて定めたパスワードが、本特約第5条に定めるオンラインショッピング認証サービスにおけるパスワードとしても登録される事に同意します。	4.	<削除>
	5.	会員は、会員指定のEメールアドレス等、当行に対して申請した登録内容に変更があった場合、または自己のID等が第三者に使用されていること、またはその恐れがあることが判明した場合、直ちに当行に届出を行うものとします。	4.	会員は、会員指定のEメールアドレス等、当行に対して申請した登録内容に変更があった場合、または自己のID等が第三者に使用されていること、またはその恐れがあることが判明した場合、直ちに当行に届出を行うものとします。
	6.	会員は、ユーザーIDおよびパスワードをWebサービスの画面より、当行の定める方法で変更できるものとします。	5.	会員は、ユーザーIDおよびパスワードをWebサービスの画面より、当行の定める方法で変更できるものとします。
	7.	会員は、ID等を失念した場合には、Webサービス上で改めてID等の登録を行う事によりWebサービスの利用ができるようになります。	6.	会員は、ID等を失念した場合には、Webサービス上で改めてID等の登録を行う事によりWebサービスの利用ができるようになります。
第5条 (オンラインショッピング認証サービス)	(2)	会員は、既にオンラインショッピング認証サービスに登録して専用パスワードを保有している場合、引き続きこの専用パスワードをオンラインショッピング認証サービスのパスワードとして使用する事が可能です。しかしながら、本特約第3条第6項に基づいてパスワードの変更を行った場合には、変更後のパスワードがオンラインショッピング認証サービス用のパスワードとして登録され、専用パスワードは失効することに同意します。	(2)	会員は、当行が発行する認証コード(本特約第3条第1項の登録済みの会員の連絡先に通知する方法による)を使用して、前号に定める電子商取引における認証を受けることができます。
	(3)	本規約第11条によるカード再発行や、カードの種別変更でカード番号が変更となった場合等には、Visa Secureの専用パスワードを含む所定の認証情報は無効となることがあります。この場合、会員は改めてWebサービス上でパスワードの設定を行うことにより、Visa Secureが利用できるようになります。	(3)	<削除>
	(4)	オンラインショッピング認証サービスは、本規約第14条によるカード利用停止、第28条による退会および第27条の会員資格の取消により、自動的に利用できなくなります。なお、オンラインショッピング認証サービスは、それ以外の方法により、会員が任意に利用を停止することはできません。	(3)	オンラインショッピング認証サービスは、本規約第14条によるカード利用停止、第28条による退会および第27条の会員資格の取消により、自動的に利用できなくなります。なお、オンラインショッピング認証サービスは、それ以外の方法により、会員が任意に利用を停止することはできません。
	(5)	本特約の規定にかかわらず、Visa Secureを利用したショッピングに関して生じた損害は本規約13条第4項に定めるとおりとします。	(4)	本特約の規定にかかわらず、Visa Secureを利用したショッピングに関して生じた損害は本規約13条第4項に定めるとおりとします。
	(6)	当行は、Webサイトに公開するなど所定の方法で会員に通知することにより、オンラインショッピング認証サービスを任意に中止できるものとします。その結果、会員に不利益が生じても、当行は一切責任を負わないものとします。	(5)	当行は、Webサイトに公開するなど所定の方法で会員に通知することにより、オンラインショッピング認証サービスを任意に中止できるものとします。その結果、会員に不利益が生じても、当行は一切責任を負わないものとします。
			以上、GLOBAL PASS 会員 Web サービス利用特約は、2021年4月20日より適用されます。	